



2021年9月期 第2四半期決算説明

株式会社 丸山製作所
代表取締役社長 内山剛治

目次

1. 2021年9月期第2四半期 業績概要 P.2
2. 2021年9月期 業績予想 P.12
3. 第7次中期経営計画 P.17
4. 参考資料 P.26
会社概要 財務諸表 等

1. 2021年9月期第2四半期 業績概要

.....

【2020年10月1日～2021年3月31日】

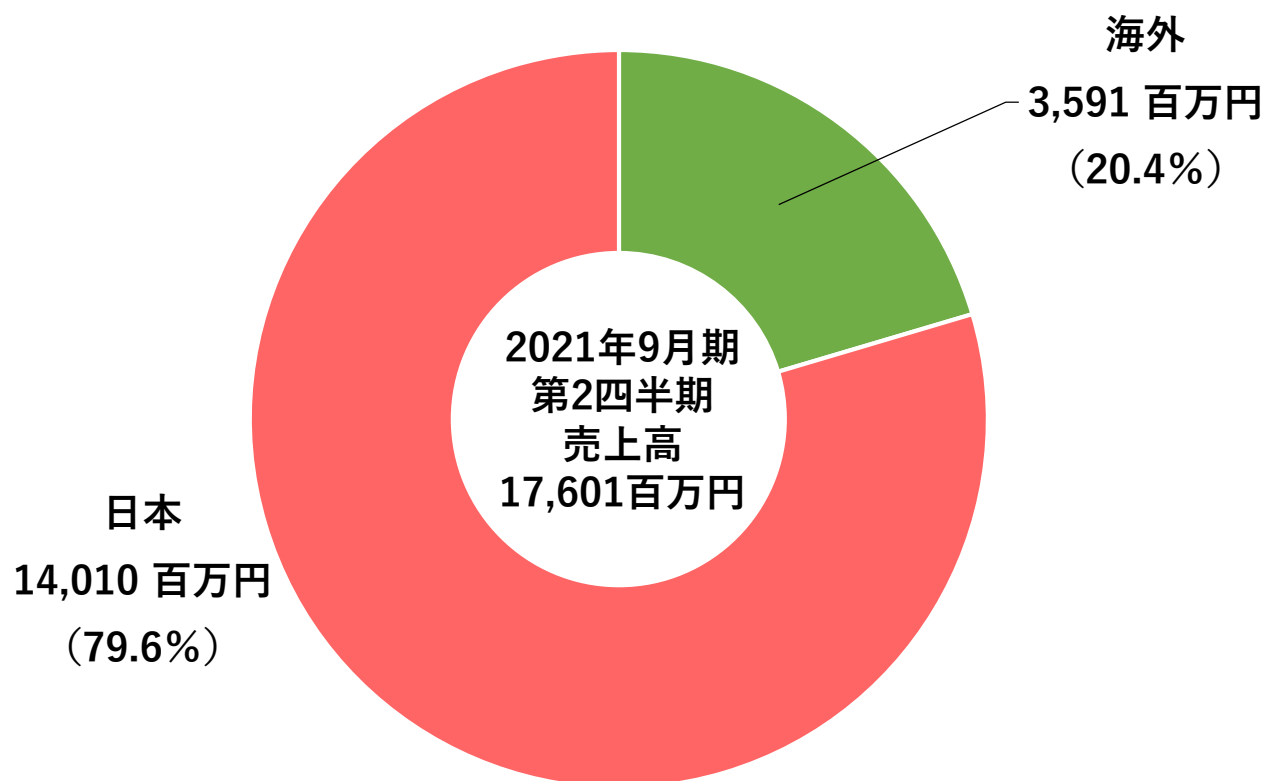
2021年9月期第2四半期 業績概要

単位： 百万円	2020年9月期 第2四半期		2021年9月期 第2四半期			2021年 9月期
			実績			通期予想
	金額	売上高 構成比	金額	前 年 同期比	売上高 構成比	金額
売上高	14,602	100.0%	17,601	20.5%	100%	35,500
営業利益	△75	—	895	—	5.1%	950
経常利益	△106	—	833	—	4.7%	880
当期純利益	△110	—	445	—	2.5%	650
為替レート 米ドル	105円		109円			
為替レート ユーロ	120円		124円			

国内外共に、新型コロナウイルス感染症の変異株の感染拡大傾向など不透明感の強く残る状況となっておりますが、国内アグリ流通では、経営継続補助金政策の影響、HC向け刈払機の好調、また北米向け刈払機の増加などにより、売上高 17,601百万円（前年同四半期比20.5%）、営業利益 895百万円（前年同四半期は損失）、経常利益 833百万円（前年同四半期は損失）となりました。

売上高の海外構成比

単位：百万円	2020年9月期 第2四半期実績		2021年9月期 第2四半期実績		
	売上高	売上高構成比	売上高	前年同期比	売上高構成比
海外	3,525	24.1%	3,591	1.9%	20.4%
日本	11,077	75.9%	14,010	26.5%	79.6%



セグメント別 業績概要

単位： 百万円	2020年9月期 第2四半期実績			2021年9月期 第2四半期実績				
	売上高	売上高 構成比	営業 利益	売上高	売上高 構成比	営業 利益	営業利益 構成比	変動要因
農林業用 機械	10,455	71.6%	△7	13,617	77.4%	968	57.4%	国内：大型機械・セット動噴、 HC向け刈払機の増加 海外：北米向け刈払機の増加
工業用 機械	2,855	19.6%	507	2,578	14.6%	525	31.1%	国内：洗浄機の増加 工業用ポンプの減少 海外：工業用ポンプの減少
その他の 機械	1,195	8.2%	84	1,310	7.4%	63	3.7%	
不動産賃貸他	243	1.7%	136	241	1.4%	130	7.7%	
調整額 (セグメント 間取引)	△146	△1.0%	△796	△146	△0.8%	△792	-	
合計 (うち海外)	14,602 (3,525)	100.0% (24.1)	△75	17,601 (3,591)	100.0% (20.4)	895	-	

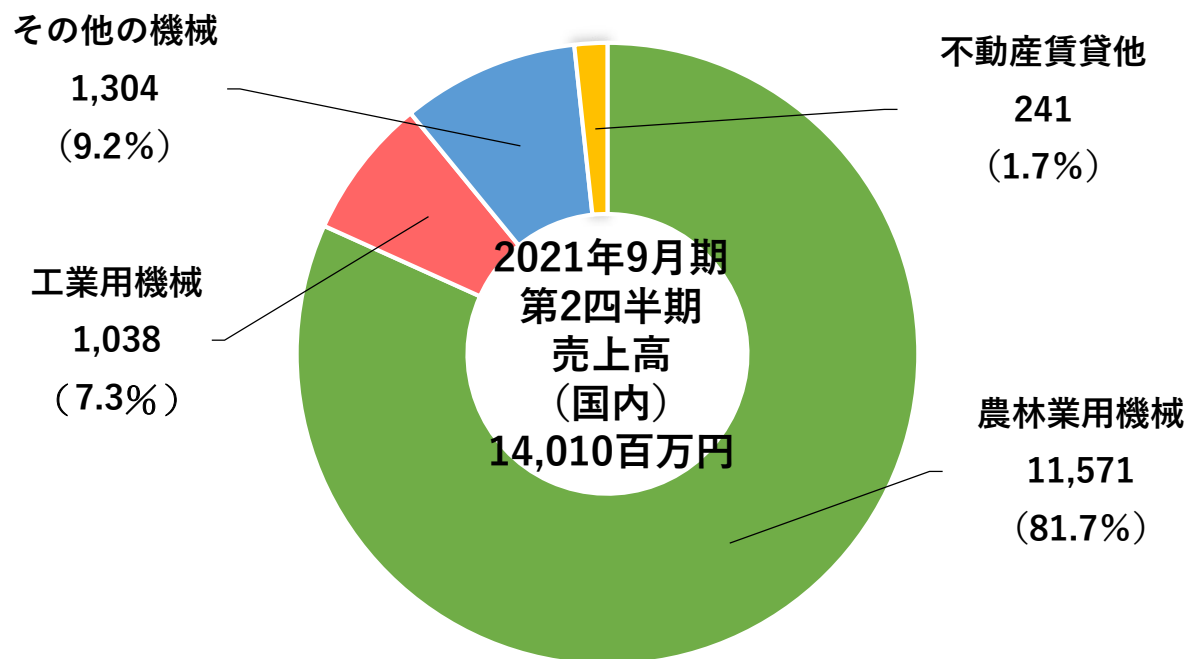
農林業用機械：売上高は30.3%増（前年同四半期比）

営業利益は大幅な黒字化（前年同四半期は75百万円の損失）

工業用機械：洗浄機増も工業用ポンプ減。売上高は減収（前年同四半期比9.7%減）となるも、
営業利益は3.6%増（前年同四半期比）

セグメント別 売上高（日本）

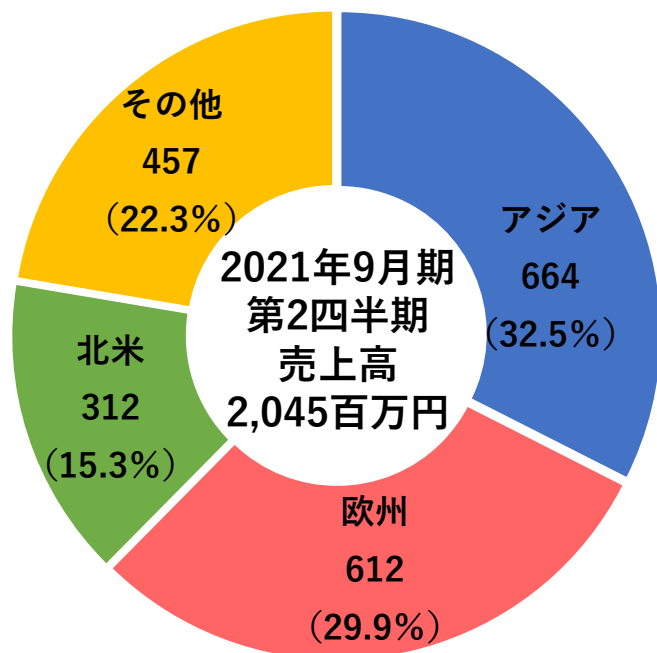
単位：百万円	2020年9月期 第2四半期実績		2021年9月期 第2四半期実績		
	売上高	売上高構成比	売上高	前年同期比	売上高構成比
農林業用機械	8,807	78.5%	11,571	31.4%	81.7%
工業用機械	981	8.7%	1,038	5.9%	7.3%
その他の機械	1,192	10.6%	1,304	9.4%	9.2%
不動産賃貸他	243	2.2%	241	△0.8%	1.7%



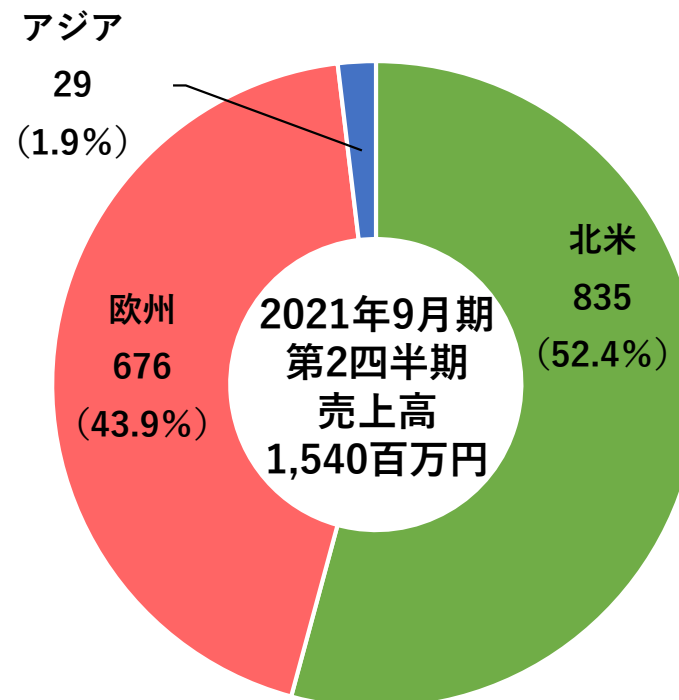
セグメント別 売上高（海外）

単位：百万円	2020年9月期 第2四半期実績		2021年9月期 第2四半期実績		
	売上高	売上高構成比	売上高	前年同期比	売上高構成比
農林業用機械	1,648	46.8%	2,045	24.1%	57.0%
工業用機械	1,874	53.2%	1,540	△17.8%	43.0%

農林業用機械



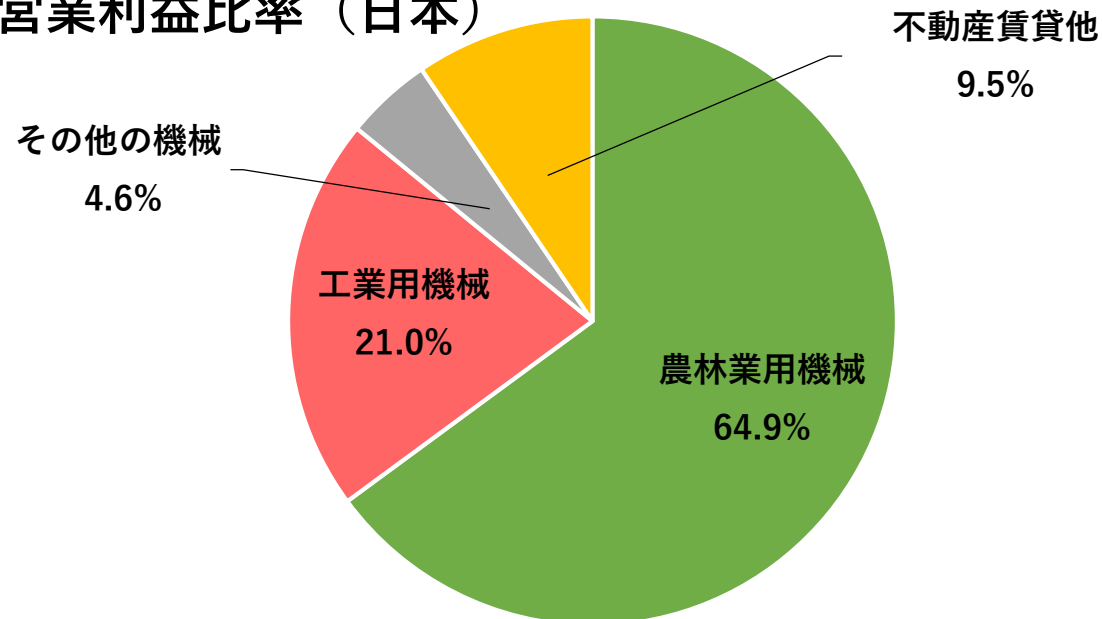
工業用機械



セグメント別 営業利益（日本）

単位：百万円	2020年9月期 第2四半期実績		2021年9月期 第2四半期実績		
	営業利益	営業利益 構成比	営業利益	前年同期比	営業利益 構成比
農林業用機械	△6	—	896	—	64.9%
工業用機械	273	58.4%	290	6.4%	21.0%
その他の機械	57	12.3%	63	△25.0%	4.6%
不動産賃貸他	137	29.3%	130	△4.4%	9.5%

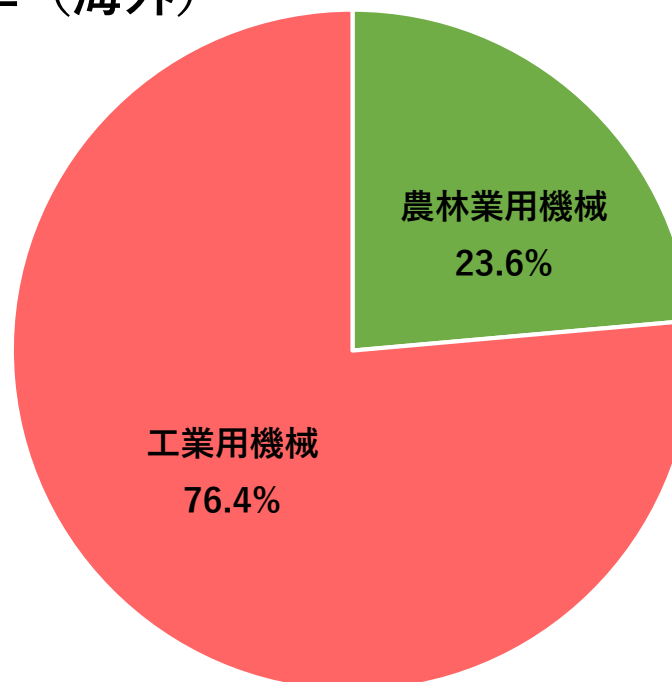
営業利益比率（日本）



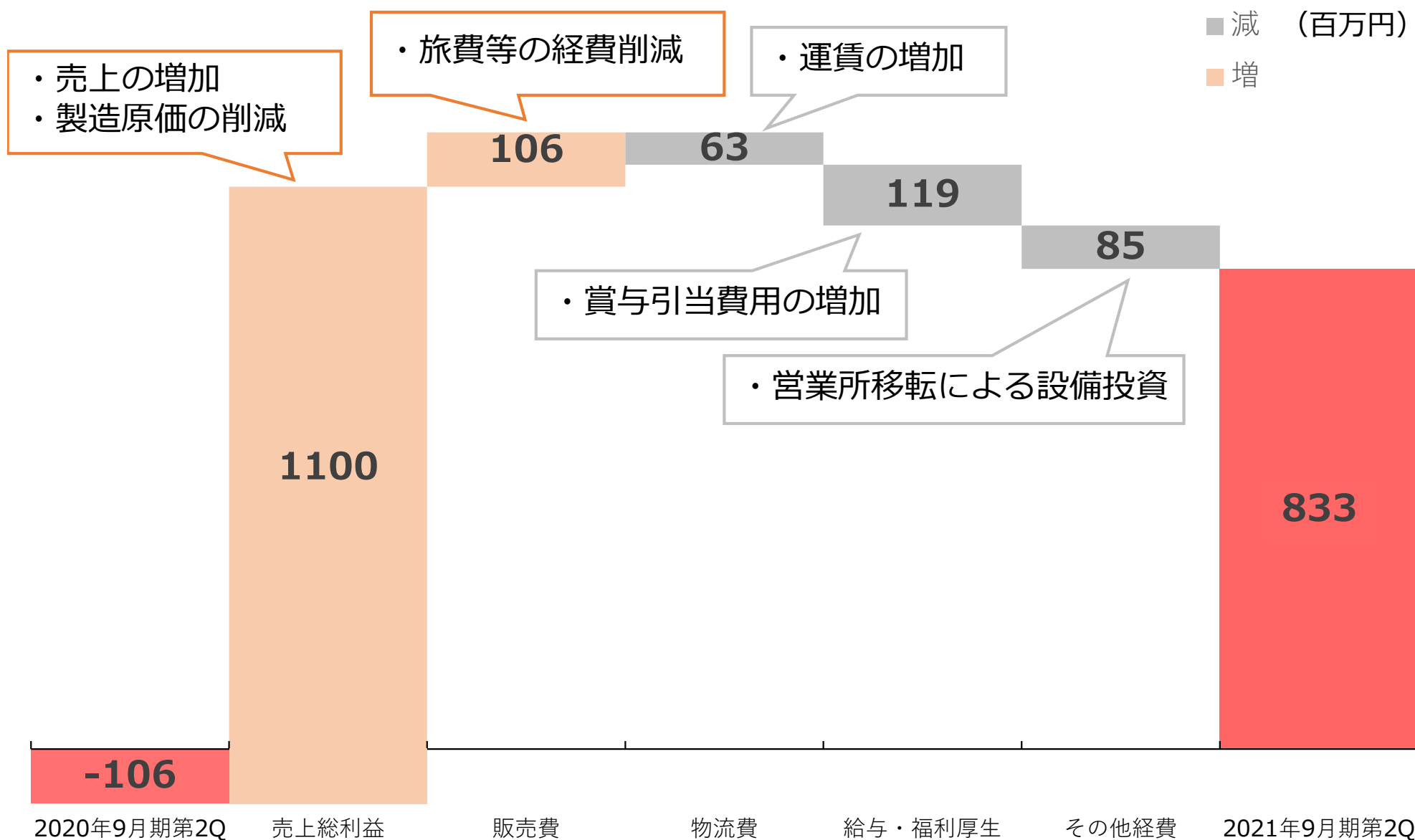
セグメント別 営業利益（海外）

単位：百万円	2020年9月期 第2四半期実績		2021年9月期 第2四半期実績		
	営業利益	営業利益 構成比	営業利益	前年同期比	営業利益 構成比
農林業用機械	△1	—	73	—	23.6%
工業用機械	322	100.0%	235	△26.9%	76.4%

営業利益比率（海外）



2021年9月期第2Q 増益分析(営業利益)

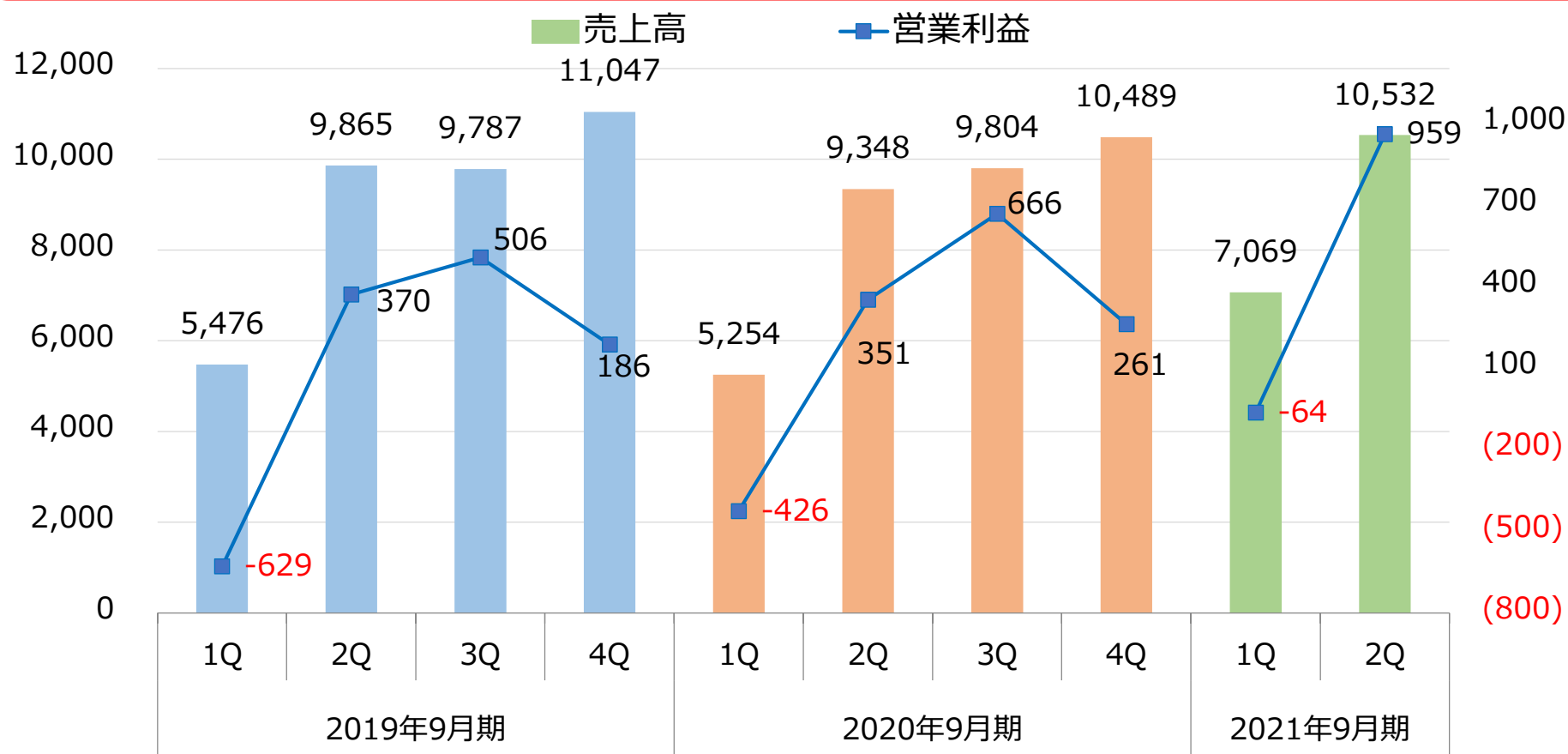


売上高・営業利益の推移(四半期ベース)

売上高は 17,601百万円（前年同四半期比20.5増%）

営業利益は 895百万円（前年同四半期は75百万円の損失）

※国内の農業用機械の需要期が3月から7月であるため、
売上・利益ともに第1四半期は他の期に比べ少ない傾向にあります。



2. 2021年9月期 業績予想



【2020年10月1日～2021年9月30日】

2021年9月期 業績予想

単位：百万円	2020年9月期 実績		2021年9月期 通期予想			2021年9月期 第2四半期	
	金額	売上高 構成比	金額	前期比	売上高 構成比	金額	進捗
売上高	34,895	100%	35,500	1.7%	100%	17,601	49.6%
営業利益	852	2.4%	950	11.4%	2.7%	895	94.2%
経常利益	763	2.2%	880	15.3%	2.5%	833	94.7%
当期純利益	648	1.9%	650	0.2%	1.8%	445	68.5%
為替レート 米ドル	109円		105円				
為替レート ユーロ	124円		120円				

連結業績予想につきましては、政府による経営継続補助事業など各種政策効果の反動減の可能性も含め、今後の事業環境を見極める必要があるため、前回予想（2020年11月12日）を修正いたしませんでしたが、合理的な算出が可能になり、見直しが必要であると判断した時点で速やかに開示いたします。

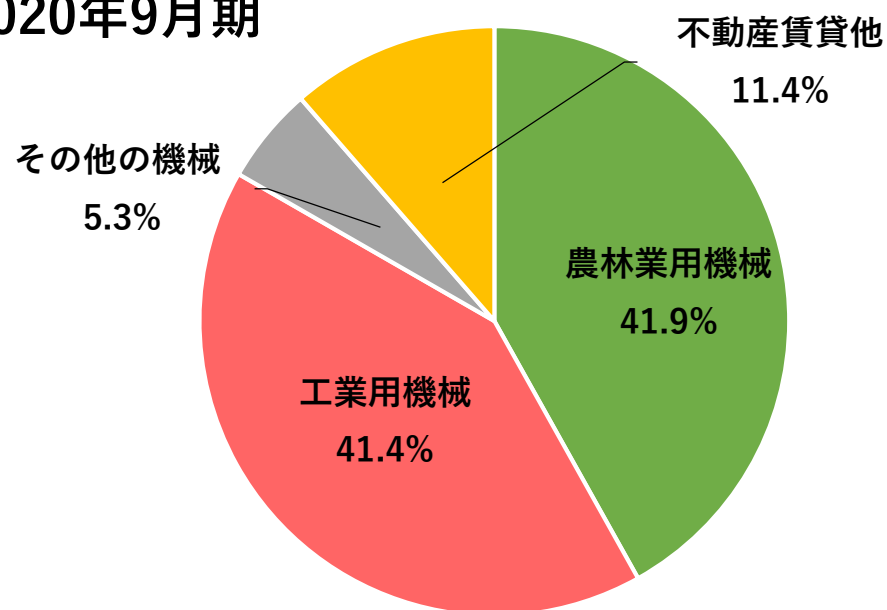
2021年9月期 セグメント別業績予想

単位： 百万円	2020年9月期 実 績			2021年9月期 予 想		
	売上高	売上高 構成比	営業利益	売上高	売上高 構成比	営業利益
農林業用機械	26,433	75.1%	1,034	26,800	75.5%	1,040
工業用機械	6,067	17.2%	1,020	6,300	17.7%	1,100
その他の機械	2,199	6.3%	131	2,200	6.2%	130
不動産賃貸他	488	1.4%	282	490	1.4%	280
調整額 (セグメント 間取引)	△293	△0.8%	△1,615	△290	△0.8%	△1,600
合計	34,895	100.0%	852	35,500	100.0%	950

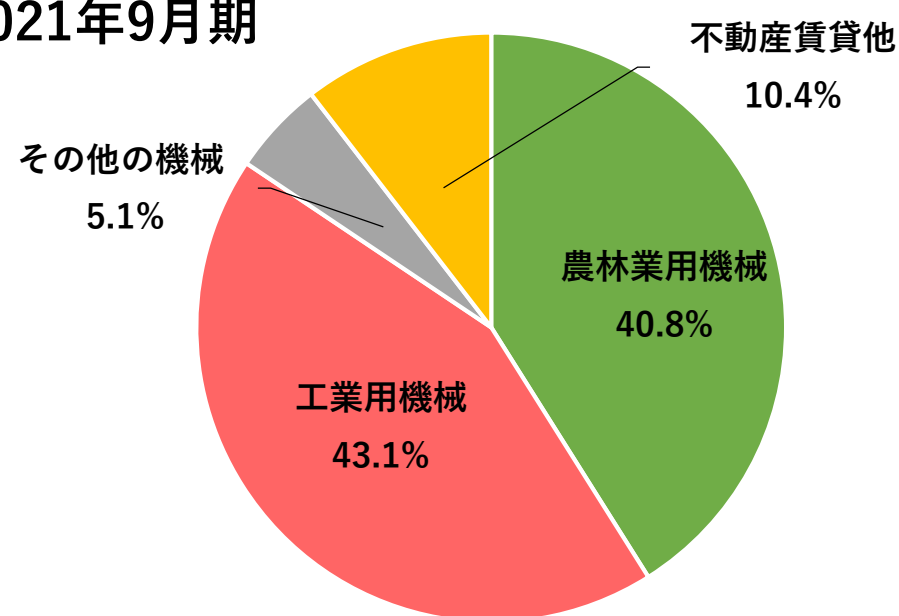
セグメント別 営業利益

単位：百万円	2020年9月期		2021年9月期		
	営業利益	営業利益 構成比	営業利益	前期比	営業利益 構成比
農林業用機械	1,034	41.9%	1,040	0.5%	40.8%
工業用機械	1,020	41.4%	1,100	7.8%	43.1%
その他の機械	131	5.3%	130	△1.4%	5.1%
不動産賃貸他	282	11.4%	280	△0.8%	10.9%

2020年9月期



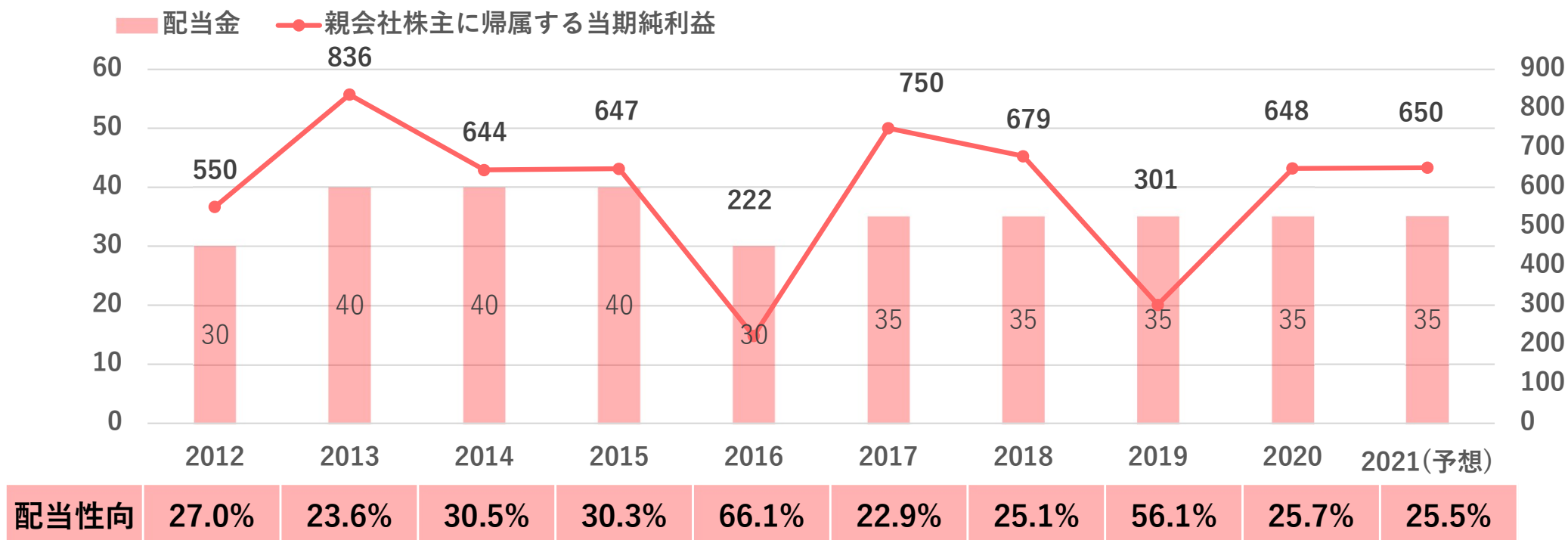
2021年9月期



株主還元

- ・ 安定的な配当を継続することを基本として、将来の事業展開に必要な内部留保ならびに業績見込みなどを勘案することを方針としております。
- ・ 来期の配当予想額は当期と同じ1株につき35円
- ・ 自社株式取得：13万株あるいは200百万円を上限

期間は2021年2月9日～2021年8月8日



※2017年4月1日付で普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、
1株あたりの配当金については2010年に株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

第7次中期経営計画

.....

【2020年9月期～2022年9月期】

事業を取り巻く環境

事業へ影響を与える主な環境変化

マクロ 環境

- ・ 国内：少子高齢化
- ・ 海外：水不足・食料問題
- ・ 国内外：自然災害多発

ビジネス 環境

- ・ 国内：農家人口の減少
- ・ 海外：新興国の発展

市場 環境

- ・ 国内：スマート農業の登場
- ・ 海外：大型防除機の需要高
- ・ 国内外：感染症対策需要高

機会

【国内】

- ・ 担い手集約・大規模化による大型機械事業の促進
- ・ スマート農業製品の開発・販売
- ・ ウルトラファインバブルの販売拡大

【海外】

- ・ 大型防除機を中心にアジア各国への販売強化
- ・ 工業用機械部門で新製品の投入

【国内外】

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策として除菌用機械の投入

中期経営計画の目標

単位：百万円	2020年度 実績	2021年度 目標値	2022年度 目標値
売上高	34,895	35,500	36,500
営業利益	852	950	1,200
経常利益	763	880	1,130
当期純利益	648	650	820
ROE	4.0%	-	4.5%以上

基本コンセプト

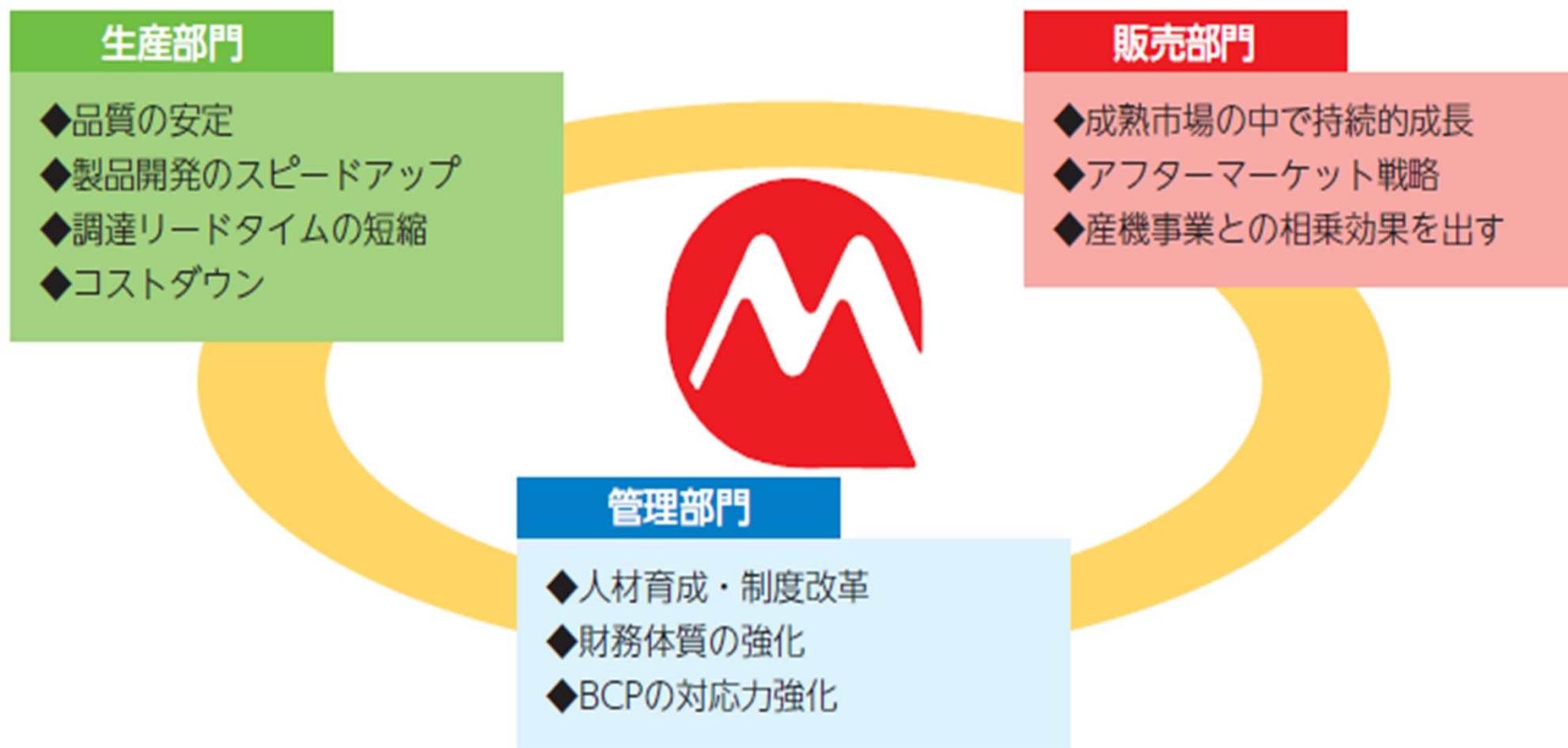
持続的成長を成し遂げる

基本戦略	方針
収益の改善	◆品質対策 ◆財務体質の強化
イノベーションを巻き起こす	◆産機・海外事業の成長 ◆スマート農業進出

社会貢献するとともに事業を進化させるべく
「次の100年を創る-All for the Future-」と
ブランドステートメントを定めました

コア技術であるポンプとエンジンをさらに進化させ、SDGsにつながる事業領域を将来に亘って継続的に拡大すべく、全社員で取り組み、収益力の向上並びに経営体質の強化に努め、単年度計画、中期経営計画の達成を目指してまいります

収益の改善



イノベーションを巻き起こす



産機事業を伸ばす

- ◆MUFB製品をはじめとした製品戦略の強化
- ◆付加価値の高い完成品を販売



海外事業を伸ばす

- ◆現地のニーズに適した製品を開発
- ◆販売チャネルの構築



スマート農業への進出

- ◆大型機械、ドローン、バッテリー製品の研究開発、品揃え強化
- ◆ソフト、システム、サービス技能の習得
- ◆異業種企業との提携・連携



サービス事業を伸ばす

- ◆アフターマーケットの拡大
- ◆市場、需要の変化に敏感に対応
- ◆サービス組織の充実
- ◆エンドユーザー情報の把握

産機事業を伸ばす

ミスト冷房



健康・環境配慮
丸山ポンプテクノロジー



カーウォッシャー



テーマパーク



ハウス内加湿



災害時緊急給水RO



M U F B (ウルトラファインバブル) の活用

ウルトラファインバブルとは・・・

1 μ m以下の微小な泡

■ 抜群の洗浄能力

- ① 洗剤なしでも洗濯ができる
- ② 細菌・ウイルス・悪臭を破壊

■ 生理活性効果

- ① 植物や養殖魚の生育を促進

洗 浄

- ・トイレの尿石が取れた
- ・臭いが減った
- ・除塩作業の効率が良くなった



水 産 業

- ・養殖魚が短期間で大きくなった
- ・鮮度が長く保たれるようになった



農 業

- ・野菜のハリ、ツヤが良くなった
- ・果物の収穫量が増え甘さも増した



ファインバブル活用事例集を基に当社作成 : https://k-rip.gr.jp/wp/wp-content/uploads/2018/03/finebubble_ver4.pdf

スマート農業への進出

車両情報を衛星により把握し、圃場内において高精度な自動操舵を実現



参考資料



貸借対照表

売上増加による受取手形等の増加のため、前連結会計年度末より総資産1,395百万円増

単位： 百万円	2020年9月期 期末		2021年9月期 第2Q		増減額	主要因
	金額	構成比	金額	構成比		
総資産	32,733	100.0%	34,129	100.0%	1,395	
流動資産	20,906	63.9%	22,011	64.5%	1,105	受取手形、売掛金の増加 電子記録債権の減少
固定資産	11,827	36.1%	12,117	35.5%	290	投資有価証券の増加
流動負債	10,910	33.3%	11,925	34.9%	1,015	支払手形、買掛金の増加 短期借入金の減少
固定負債	5,781	17.7%	5,564	16.3%	△217	長期借入金の減少
純資産	16,042	49.0%	16,638	48.8%	596	期末日にかけての時価の上昇による その他有価証券評価差額金の増加

	2020年9月期末	2021年9月期第2Q
自己資本比率	49.0%	48.8%
流動比率	191.6%	184.6%

(注) 1. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を当連結会計年度の期首から適用しており、前連結会計年度の総資産の金額については、当該会計基準等を遡って適用した後の金額となっております。

キャッシュフロー計算書

単位：百万円	2020年 9月期 第2Q	2021年 9月期 第2Q	前 期 同期比	変動要因
営業活動によるキャッシュフロー	762	595	△167	売上債権の増加、法人税等の増加
投資活動によるキャッシュフロー	△322	△543	△221	有形固定資産の取得による支出増加
フリーキャッシュフロー	440	52	△388	
財務活動によるキャッシュフロー	△724	△498	226	短期借入金の減少
現金及び現金同等物期末残高	1,824	3,687	1,863	

会社概要（2021年03月31日現在）

社 名	株式会社丸山製作所
代表者	代表取締役社長 内山 剛治
本 社	〒101-0047 東京都千代田区内神田 3 丁目 4 番 1 5 号
創業・設立	【創業】 1895年 【設立】 1937年11月
資本金	46億51百万円
売上高	348億95百万円（2020年9月期）
事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
上 場	東京証券取引所 市場第一部
従業員数	【単体】 592名 【連結】 910名
証券コード	6316
事業内容	農林業用機械、工業用機械、消防機械の製造・販売
URL	http://www.maruyama.co.jp/

沿革

1895年

新潟県高田町にて丸山商会を創業
(日本で初めて消火器を製造)

1918年

人力噴霧器の製造・販売

1935年

動力噴霧機の製造・販売

1937年

株式会社丸山製作所を設立

1961年

東京証券取引所市場第二部に上場

1967年

工業用ポンプを開発

1977年

東京証券取引所市場第一部に指定

1990年

オリジナル2サイクルエンジン開発

2000年

新環境型2サイクルエンジンを開発
カリフォルニア州排ガス規制クリア

2004年

消火剤リサイクル・・・eco消火器を販売

2012年

キャビン付ハイクリブームの開発

2016年

マルチローター（ドローン）の開発

2018年

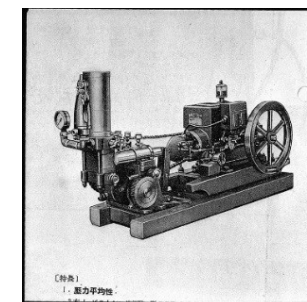
ハイクリブーム発売30周年を迎える

2020年

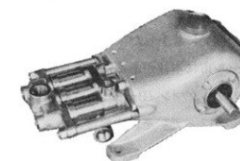
創業125周年



丸山式消火器



横型三連式動力噴霧機



工業用ポンプ



2サイクルエンジン



キャビン付ハイクリブーム

当社の事業内容



農林業用機械分野

現在、丸山グループの基幹となっている事業です。丸山独自のポンプを使用した防除機は、変化し続ける農家の皆様のニーズに対応すべく、多種多様な製品を製造・販売しております。また、自社製の2サイクルエンジンを使用した刈払機、チェーンソーなども扱っています。

産業機械分野

現在、丸山製作所が力を入れている事業です。高圧洗浄機や洗車機、ミスト装置などに使われる産業用の高圧ポンプの開発・製造を行っております。また、畜舎内での病原菌の感染を防ぐ車両消毒装置など、環境衛生機器分野にも丸山製作所のポンプは活用されております。

防災関連分野

丸山製作所は日本で最初に消火器の製造・販売をした企業です。多様化する社会の中で「環境とより安全な消火器で社会に貢献する」という理念のもと、消火薬剤のリサイクル化を進め、技術改良と製品開発により、さまざまなニーズに対応しております。

当社製品



当社の主力

消火器の製造から始まり、現在ではポンプ・エンジンが当社のコアテクノロジーです。

ポンプとエンジンは製品の動力源であり、製品の心臓部となるものです。様々な分野の製品で活用されています。

ポンプ & エンジン



当社の強み（製品）

当社の製品は様々な分野でトップシェアを獲得しています



ポンプ製品の農業用防除機で
国内トップシェア



海外（北米）でのカー
ウォッシュ用ポンプで
トップシェア



エンジン製品の刈払機
でホームセンター流通
において
国内トップシェア

国内の販売・生産・サービス拠点



物流拠点（福島）



千葉工場（東京ドーム3個分の敷地）



- 本社 Headquarters
- 千葉工場 Chiba Plant
- 事業所 Business offices
- 営業所 Sales offices
- 関連会社 Affiliated companies

本社
生産拠点

東京都千代田区
3ヶ所
千葉県東金市（2ヶ所）
岡山県苫田郡

営業拠点

全国26ヶ所
北海道(江別・帯広) / 青森 / 岩手 / 秋田 / 山形 / 宮城 / 福島 / 茨城 / 栃木 / 千葉 / 東京 / 新潟 / 長野 / 山梨 / 石川 / 愛知 / 静岡 / 大阪 / 広島 / 岡山 / 香川 / 福岡 / 熊本 / 鹿児島 / 宮崎



西部丸山（岡山）

物流拠点

3ヶ所
福島県・千葉県・岡山県

関係会社

日本クライス株式会社
マルヤマエクセル株式会社
西部丸山株式会社
丸山物流株式会社

海外の販売・生産拠点



• MARUYAMA MFG EUROPE OFFICE

- 欧州における市場調査
- 林業用機械の販売促進

- 中国市場向けに農林業用機械の販売

• 丸山（上海）貿易有限公司

• MARUYAMA MFG (THAILAND) CO.,LTD. ASIAN MARUYAMA(THAILAND)CO.,LTD.

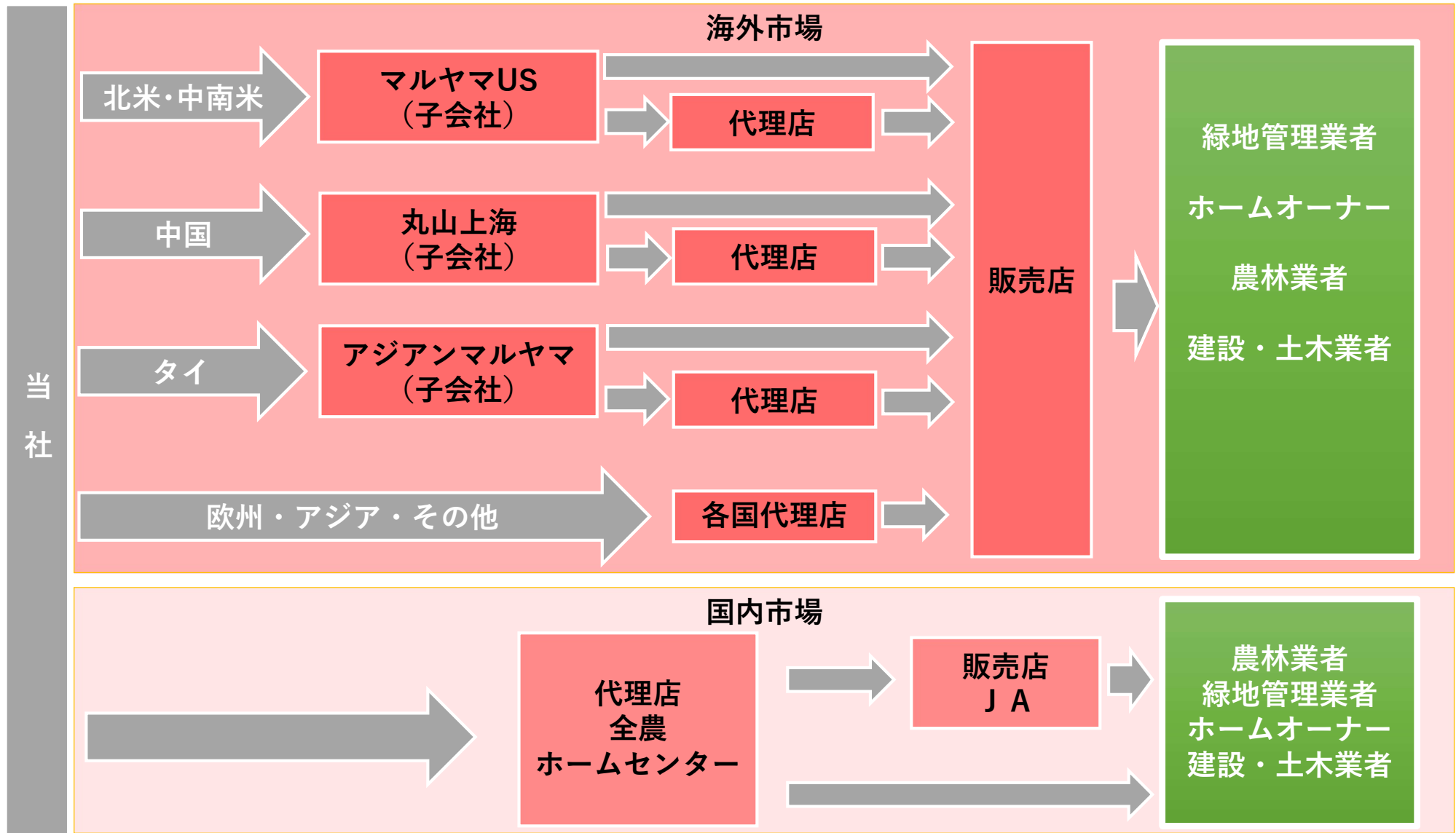
- 農林業用機械の製造・販売
- 東南アジア市場向けを中心に販売



• MARUYAMA U.S.,INC.

- 北米を中心に農林業用機械を販売

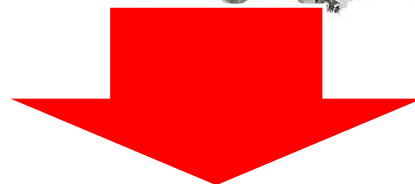
主な販売経路



ポンプを使用した工業用製品



スパウターによる
消臭作業



テーマパークで
使用されるミスト



高圧洗浄機



温度管理ミスト

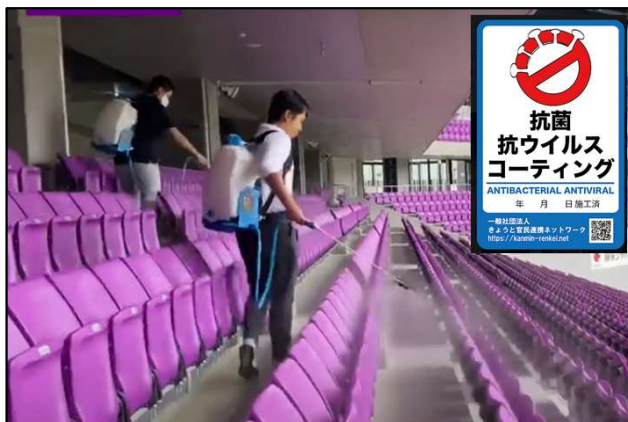


カーウォッシャー



災害時緊急給水RO

ポンプを使用した農業用製品



スタジアムの抗菌
抗ウイルスコーティング



牛舎での除菌作業



背負動力噴霧機

【畑・ビニールハウス】



ステレオスプレーヤ

【果樹園】



ハイクリブーム

【田・畑】



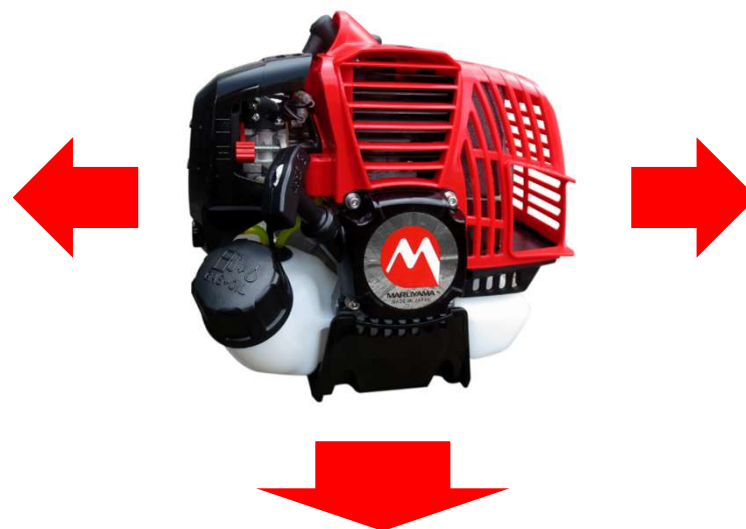
マルチローター

【中山間地】

エンジンを使用した製品



刈払機



ブロワー



ヘッジトリマー



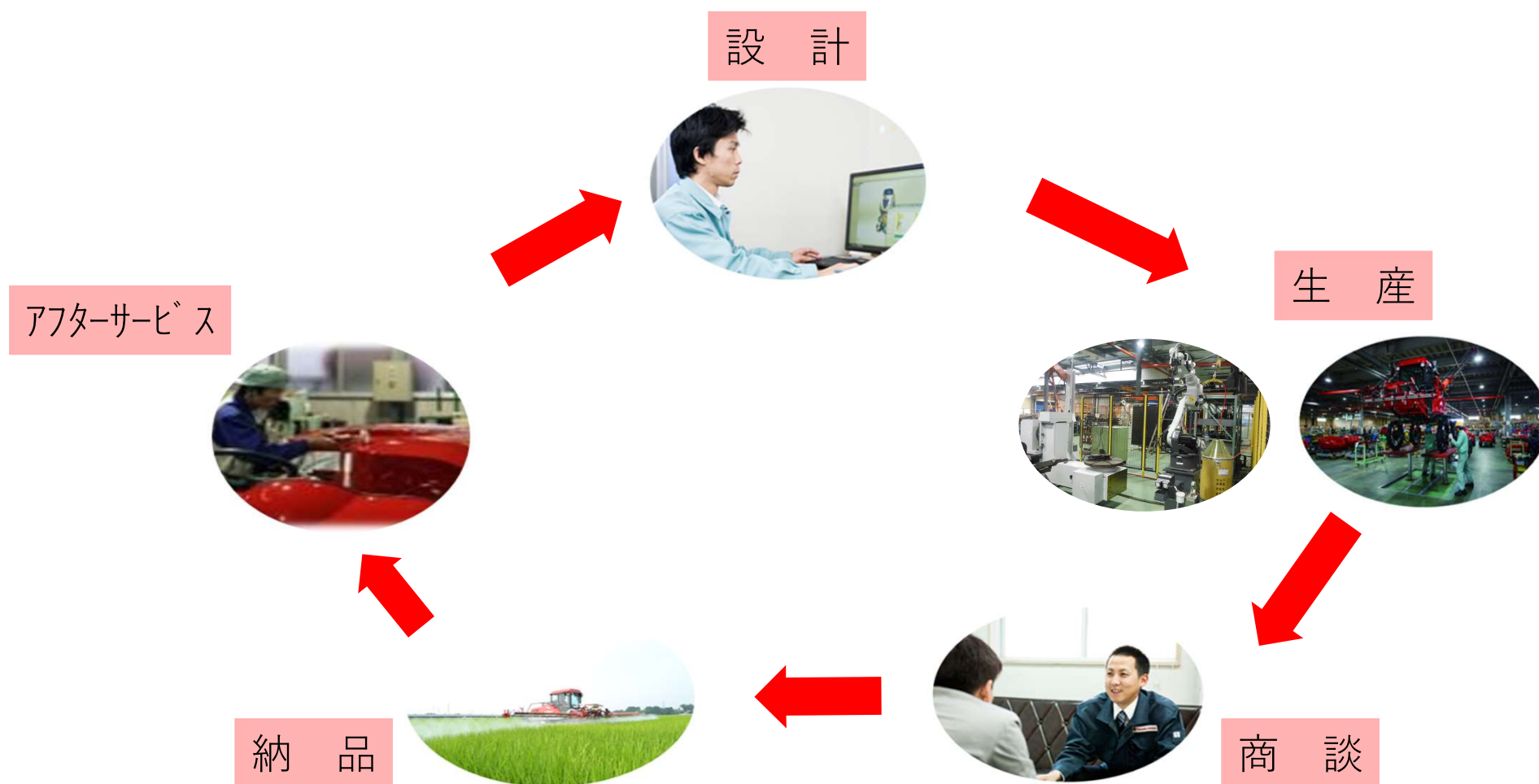
チェーンソー



背負動力噴霧機

当社の強み（生産体制）

丸山グループは設計・製造からお客様のお手元に製品が届くまで、グループ内で一貫して行なっております



新型コロナウイルスに対する取り組み

当社グループの感染症拡大防止への取り組み

- ・ 既存の噴霧機をウイルス対策製品として販売
- ・ 他社と提携し、施設や会場などで当社の噴霧機を用いて除菌
- ・ テレワーク、時差出勤の推奨
- ・ オンライン会議やチャットの活用
- ・ 毎日の体調チェック、業務中のマスク着用等

本社ビル・千葉工場では当社の噴霧機を使用し、抗菌剤を散布



消防ホース洗浄機を寄贈

- ・ 2021年2月に発生した栃木県足利市における大規模な林野火災を受け、足利市消防本部に当社製品の消防ホース洗浄機「MFW-119H」5台を寄贈
- ・ 消火活動後のホース洗浄に使用
- ・ 今後も地域社会および世の中に貢献できるように積極的に活動を行う

消防署の職員の方々から、消防ホースを洗浄する労力が大幅に軽減できたと
大変喜ばれ感謝をいただきました。



熊本・北海道・山梨営業所を新築移転

お客様へのサービスの一層の向上と機能充実を図るため、3つの営業所を新築、移転

所内に広い整備工場を設置し、より迅速かつスムーズに製品の点検整備を行えるようになりました



北海道
営業所

住所：北海道江別市東野幌133-1
TEL：011-398-6010
FAX：011-398-6019



山梨
営業所

住所：山梨県笛吹市御坂町金川原1115-53
TEL：055-298-4129
FAX：055-298-4139



熊本
営業所

住所：熊本県菊池郡大津町杉水2978
TEL：096-234-8533
FAX：096-234-8566

S N S を活用した取組み

- 昨年より、YouTube、Facebook、Instagramのアカウントを開設
- SNSを運営する目的は
「丸山ブランドを世間に広め、丸山ファンを全国に作ること」

SNSを活用することにより、これまで以上にお客様に近い立場で情報の発信を行うことが可能となりました。

毎週金曜日に製品に関する豆知識の紹介や
実演のライブ配信を行っています！



チャンネル登録とフォローはこちらからお願いいたします。

健康経営への取り組み

- ・ 今期より健康経営の取り組みをスタートいたしました

【健康経営宣言】

丸山グループは、社会になくてはならない企業である事を目指し、「食・水・環境」の各分野の課題解決に向け、創業以来、全従業員と歩んでまいりました。

ブランドステートメントである「次の100年を創る -All for the future-」を实践し、より良い社会を創る事ためには、従業員とその家族が健康で、働き甲斐が実感できる事が必要不可欠と考えております。

丸山グループは、健康経営を通じて従業員が長く安心して、活き活きと働き続けられる企業を目指し、従業員の健康作りを推進して参ります。

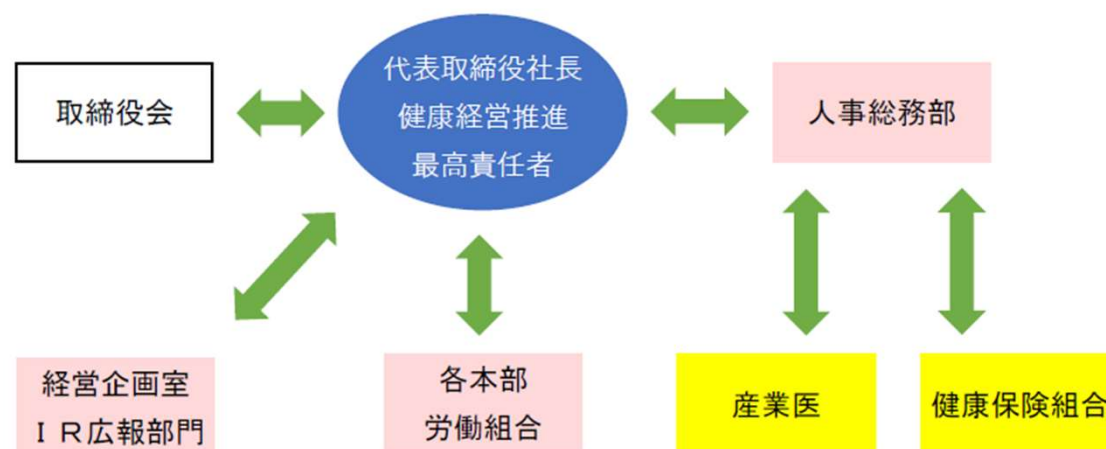
代表取締役社長

健康経営推進最高責任者

内山 剛治

【推進体制】

代表取締役社長を健康経営推進最高責任者（CHO）とし、関連部署および健康保険組合、産業医と連携し、健康経営に取り組んでまいります。



本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。

また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

【I Rに関するお問い合わせ先】

株式会社丸山製作所
人事総務部

〒101-0047 東京都千代田区内神田3-4-15

TEL : 03-3252-2271

E-mail : ir-contact@maruyama.co.jp



次の100年を創る
-All for the future-